

民生委員・児童委員の
意識と活動に関するアンケート
報告書
[全 体]

2022(令和4)年 6 月

令和 2-4年度科学研究費補助金 課題番号 20H00087

委嘱型ボランティア研究会

代表 小松理佐子(日本福祉大学)

第Ⅰ部 調査実施の概要	1
1 調査目的	1
2 調査項目	1
3 調査期間	1
4 調査対象	1
5 調査方法	2
6 回収結果	2
7 本報告書を読む際の留意点	2
第Ⅱ部 調査結果の概要	3
I 「あなたご自身」について	3
(1) 民生委員・児童委員としての役割.....	3
(2) 単位民児協での役割.....	3
(3) 民生委員・児童委員としての通算の経験年数.....	4
(4) 性別.....	4
(5) 年齢.....	4
(6) 世帯構成.....	5
(7) 都道府県.....	6
(8) 市区町村の人口規模.....	6
(9) 当該市区町村における居住年数（2022（令和4）年1月1日現在）.....	7
(10) 現在の職業.....	7
(11) 暮らし向き.....	8
(12) 民生委員・児童委員に委嘱される前の地域での活動経験.....	9
II あなたがお住まいの地域（単位民児協の範囲）について.....	10
(1) 地域の概況.....	10
(2) 地域福祉を推進する組織の活動.....	11
(3) 5年前との比較.....	12
(4) お住まいの地域への考え方.....	13
III あなたの民生委員・児童委員活動について	14
(1) 1カ月間の活動日数.....	14
(2) 推薦された理由.....	15
(3) 推薦されたときに感じたこと.....	16
(4) 「7つのはたらき」の重要度.....	17
(5) 個別支援活動に関する意識.....	18
(6) 活動の範囲に関する意識.....	19
(7) 活動への影響.....	21

(8) 任命後の変化.....	23
IV 民生委員・児童委員としての現在のお気持ちについて	25
(1) 活動の充実感.....	25
(2) 委嘱された直後との意欲の比較.....	27
(3) ボランティアとしての意識.....	30
V 民生委員・児童委員活動への支援体制について	32
(1) 必要な研修.....	32
(2) 頼りになる機関・団体.....	33
(3) 協力を得やすい人.....	34
(4) 単位民児協の定例会の意義.....	35
VI これからの民生委員・児童委員制度の在り方について	36
(1) 継続の意思.....	36
(2) 退任の理由.....	37
(3) 持続可能な制度にしていくために必要なこと.....	38

第 I 部 調査実施の概要

1 調査目的

「地域共生社会」の政策が推進されている今日、地域福祉の担い手としての民生委員・児童委員へ期待は高まっている。その一方で、民生委員・児童委員の「なり手不足」が課題となりつつある。このような状況をふまえて、本調査は、民生委員・児童委員の実態と課題を明らかにすることにより、持続可能な制度・活動の在り方を検討することを目的とする。

なお、この調査は、日本学術振興会より科学研究費補助金基盤研究（A）の助成を受け、「人口減少社会における持続可能な社会福祉モデルの開発—委嘱型ボランティアの検証—」（課題番号 20H00087）の一環として実施する。

2 調査項目

- (1) あなたご自身について
- (2) お住まいの地域（単位民児協の範囲）
- (3) 民生委員・児童委員活動
- (4) 民生委員・児童委員としての現在のお気持ち
- (5) 民生委員・児童委員活動への支援体制
- (6) 民生委員・児童委員制度の在り方についてのご意見

3 調査期間

2021 年 12 月 1 日～2022 年 3 月 31 日

※了解を得られた自治体より随時実施

4 調査対象

8 都道府県の民生委員・児童委員（主任児童委員を含む） 28,057 人
（全国の都道府県の中で人口増減率から選定（増減率の高位、中位、下位それぞれのグループから選定。なお、配布数は後日 8 都道府県より回答を得た。）

秋田県	3,297	人
東京都	6,848	人
富山県	2,564	人
岐阜県	4,522	人
島根県	2,268	人
山口県	3,703	人
高知県	2,374	人
宮崎県	2,481	人

5 調査方法

- (1) 配布 市区町村の定例会・研修会などで配布
- (2) 回収 各自で調査票に同封した返信用封筒にて郵送返送

6 回収結果

有効回収数 (率)	21,031 人 (75.0 %)
秋田県	2,251 人
東京都	5,435 人
富山県	1,907 人
岐阜県	3,434 人
島根県	1,657 人
山口県	2,793 人
高知県	1,564 人
宮崎県	1,912 人

7 本報告書を読む際の留意点

回答率（各回答の百分率）は、原則として小数点第2位を四捨五入した。このため、回答率の合計が総計又は小計の数字と一致しない場合があるほか、単数回答の質問では合計が99.9%や100.1%となる場合がある。

第Ⅱ部 調査結果の概要

I 「あなたご自身」について

(1) 民生委員・児童委員としての役割

問1 民生委員・児童委員としての役割（1つだけに○）

民生委員・児童委員としての役割を聞いたところ、「区域を担当する委員」が90.5%、「主任児童委員」が9.2%となっている。

表1 民生委員・児童委員としての役割

総数	区域を担当する委員	主任児童委員	無回答	
21031	19028	1942	61	(人)
100.0	90.5	9.2	0.3	(%)

(2) 単位民児協での役割

問2 単位民児協での役割（主なもの1つだけ）

単位民児協としての役割を聞いたところ、「会長」が5.6%、「副会長」が8.3%、「会計」が5.0%、「部会長」が5.5%、「その他」が9.9%、「特になし」が64.1%となっている。

表2 単位民児協での役割

総数	会長	副会長	会計	部会長	その他	特になし	無回答	
21031	1184	1755	1056	1147	2076	13480	333	(人)
100.0	5.6	8.3	5.0	5.5	9.9	64.1	1.6	(%)

(3) 民生委員・児童委員としての通算の経験年数

問3 民生委員・児童委員としての通算の経験年数（2022（令和4）年1月現在）
（1つだけに○）

2022（令和4）年1月現在の民生委員・児童委員としての通算の経験年数を聞いたところ、「3年未満」が29.8%、「3年～6年未満」が25.1%、「6年～9年未満」が16.0%、「9年～15年未満」が18.2%、「15年以上」が10.6%となっている。

表3 民生委員・児童委員としての通算の経験年数

総数	3年未満	3年～6年 未満	6年～9年 未満	9年～15年 未満	15年以上	無回答
21031	6260	5281	3365	3838	2232	55 (人)
100.0	29.8	25.1	16.0	18.2	10.6	0.3 (%)

(4) 性別

問4 性別（1つだけに○）

性別を聞いたところ、「男性」が38.6%、「女性」が61.4%となっている。

表4 性別

総数	男性	女性	その他	無回答
21031	8108	12907	3	13 (人)
100.0	38.6	61.4	0.0	0.1 (%)

0.0:表章単位に満たないが、回答者がいるもの

(5) 年齢

問5 年齢（2022（令和4）年1月1日現在）

年齢を聞いたところ、「20代」が0.0%、「30代」が0.1%、「40代」が1.7%、「50代」が8.8%、「60代」が40.8%、「70代」が47.2%、「80代」が1.0%となっている。

表5 年齢

総数	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	無回答
21031	1	24	368	1861	8579	9935	220	43
100.0	0.0	0.1	1.7	8.8	40.8	47.2	1.0	0.2

0.0：表章単位に満たないが、回答者がいるもの

(6) 世帯構成

問6 現在のあなたの世帯は、次のどれですか。（1つだけに○）

世帯構成を聞いたところ、「一人暮らし」が8.9%、「夫婦だけの世帯」が42.4%、「二世帯（夫婦と親だけの世帯、親と子どもの世帯など）」が35.3%、「三世帯以上で暮らす世帯」が12.2%、「その他の世帯」が1.0%となっている。

表6 世帯構成

総数	一人暮らし	夫婦だけの世帯	二世帯の世帯(※)	三世帯以上で暮らす世帯	その他の世帯	無回答
21031	1868	8920	7428	2564	209	42
100.0	8.9	42.4	35.3	12.2	1.0	0.2

(※) 二世帯（夫婦と親だけの世帯、親と子どもの世帯など）

(7) 都道府県

問7 都道府県

お住まいの都道府県を聞いたところ、秋田県が10.7%、東京都が25.8%、富山県が9.1%、岐阜県が16.3%、島根県が7.9%、山口県13.3%、高知県が7.4%、宮崎県が9.1%となっている。

表7 都道府県

総数	秋田県	東京都	富山県	岐阜県	島根県	山口県	高知県	宮崎県	無回答
21031	2251	5435	1907	3434	1657	2793	1564	1912	78 (人)
100.0	10.7	25.8	9.1	16.3	7.9	13.3	7.4	9.1	0.4 (%)

(8) 市区町村の人口規模

問9 市区町村の人口規模 (1つだけに○)

お住まいの市区町村の人口規模を聞いたところ、「1万人未満」が7.4%、「1万人～5万人未満」が24.5%、「5万人～10万人未満」が11.5%、「10万人～20万人未満」が15.8%、「20万人～40万人未満」が15.5%、「40万人～100万人未満」が18.9%、「100万人以上」が0.4%となっている。

表8 市区町村の人口規模

総数	1万人未満	1万人～5万人未満	5万人～10万人未満	10万人～20万人未満	20万人～40万人未満	40万人～100万人未満	100万人以上	無回答
21031	1547	5157	2416	3329	3262	3969	79	1272 (人)
100.0	7.4	24.5	11.5	15.8	15.5	18.9	0.4	6.0 (%)

(9) 当該市区町村における居住年数 (2022 (令和4) 年1月1日現在)

問10 当該市区町村における居住年数 (2022 (令和4) 年1月1日現在)
(1つだけに○)

当該市区町村における居住年数を聞いたところ、「5年未満」が0.3%、「5年～10年未満」が1.2%、「10年～20年未満」が5.1%、「20年～30年未満」が9.2%、「30年～50年未満」が38.0%、「50年以上」が45.5%となっている。

表9 当該市区町村における居住年数 (2022 (令和4) 年1月1日現在)

総数	5年未満	5年～10年未満	10年～20年未満	20年～30年未満	30年～50年未満	50年以上	無回答
21031	73	261	1081	1931	7996	9574	115 (人)
100.0	0.3	1.2	5.1	9.2	38.0	45.5	0.5 (%)

(10) 現在の職業

問11 現在の職業 (主なもの1つに○をつけてください)

現在の職業を聞いたところ、「農林漁業 (家族従業者含む)」が5.8%、「自営業 (商工サービス業、自由業 (家族従業者を含む))」が12.1%、「会社役員」が3.8%、「民間企業の会社員」が5.2%、「公務員」が1.1%、「パートタイム・アルバイト」が17.5%、「専業主婦・主夫」が21.3%、「無職」が31.5%、「その他」が1.2%となっている。

表10-1 現在の職業

総数	農林漁業 (家族従業者含む)	自営業 (※)	会社役員	民間企業の会社員	公務員	パートタイム・アルバイト	専業主婦・主夫	無職	その他	無回答
21031	1214	2554	798	1087	235	3673	4489	6628	260	93 (人)
100.0	5.8	12.1	3.8	5.2	1.1	17.5	21.3	31.5	1.2	0.4 (%)

(※) 自営業 (商工サービス業、自由業 (家族従業者を含む))

問 11-2 「8 無職」に○をつけた方にお尋ねします。以前はどのような職業に従事されてきましたか。(主なもの1つに○をつけてください)

また、現在無職の方(6,628人)に以前はどのような職業に従事されていたか聞いたところ、「農林漁業(家族従業者含む)」が0.9%、「自営業(商工サービス業、自由業(家族従業者を含む))」が5.6%、「会社役員」が5.1%、「民間企業の会社員」が44.5%、「公務員」が32.7%、「パートタイム・アルバイト」が5.3%、「専業主婦・主夫」が2.7%、「無職」が1.2%、「その他」が0.8%となっている。

表 10-2 以前の職業

該当数	農林漁業 (家族従業者含む)	自営業 (※)	会社役員	民間企業 の会社員	公務員	パートタイム・アルバイト	専業主婦・主夫	無職	その他	無回答
6628	58	369	335	2949	2167	349	181	82	52	86(人)
100.0	0.9	5.6	5.1	44.5	32.7	5.3	2.7	1.2	0.8	1.3(%)

(※) 自営業(商工サービス業、自由業(家族従業者を含む))

(11) 暮らし向き

問 12 あなたのお宅の暮らし向きは、次のどれにあたるでしょうか。(1つだけに○)

お宅の暮らし向きを聞いたところ、「余裕がある」が7.2%、「やや余裕がある」が16.0%、「ふつう」が65.3%、「やや厳しい」が8.9%、「厳しい」が2.0%となっている。

表 11 暮らし向き

総数	余裕がある	やや余裕がある	ふつう	やや厳しい	厳しい	無回答
21031	1516	3362	13738	1867	415	133(人)
100.0	7.2	16.0	65.3	8.9	2.0	0.6(%)

(12) 民生委員・児童委員に委嘱される前の地域での活動経験

問 13 民生委員・児童委員に委嘱される前の地域での活動経験

(あてはまる番号すべてに○をしてください)

民生委員・児童委員に委嘱される前の地域での活動経験を聞いた。割合が高い順に5項目を挙げると、「自治会・町内会の活動」が58.2%、「学校・PTA等の活動」が43.0%、「趣味・娯楽などのサークル活動」が24.1%、「子ども会・育成会」が20.2%、「婦人会・女性会」が18.2%となっている。

表 12 民生委員・児童委員に委嘱される前の地域での活動経験（複数回答）

総数	自治会・町内会の活動	地区社会福祉協議会での活動	学校・PTA等の活動	子ども会・育成会	婦人会・女性会	青年団・消防団等の活動	高齢者（老人）クラブ	高齢者サロン活動
21031	12231	2930	9047	4258	3828	1907	1795	2031
100.0	58.2	13.9	43.0	20.2	18.2	9.1	8.5	9.7
障害者団体	子育てサークルなど	8～10以外の福祉ボランティア団体	まちづくり活動	スポーツ・レクリエーション活動	趣味・娯楽などのサークル活動	氏子会・檀家組織など	(氏子会・檀家組織以外の)宗教団体	
431	1015	1539	1841	3764	5077	2238	554	
2.0	4.8	7.3	8.8	17.9	24.1	10.6	2.6	
協同組合(※)	勤め先などでの社会貢献活動	組織に属さない個人の活動	その他	どれにも参加していない	無回答			
1582	1728	879	1180	1524	185	(人)		
7.5	8.2	4.2	5.6	7.2	0.9	(%)		

(※) 商工会・農協・森林組合・生協などの協同組合

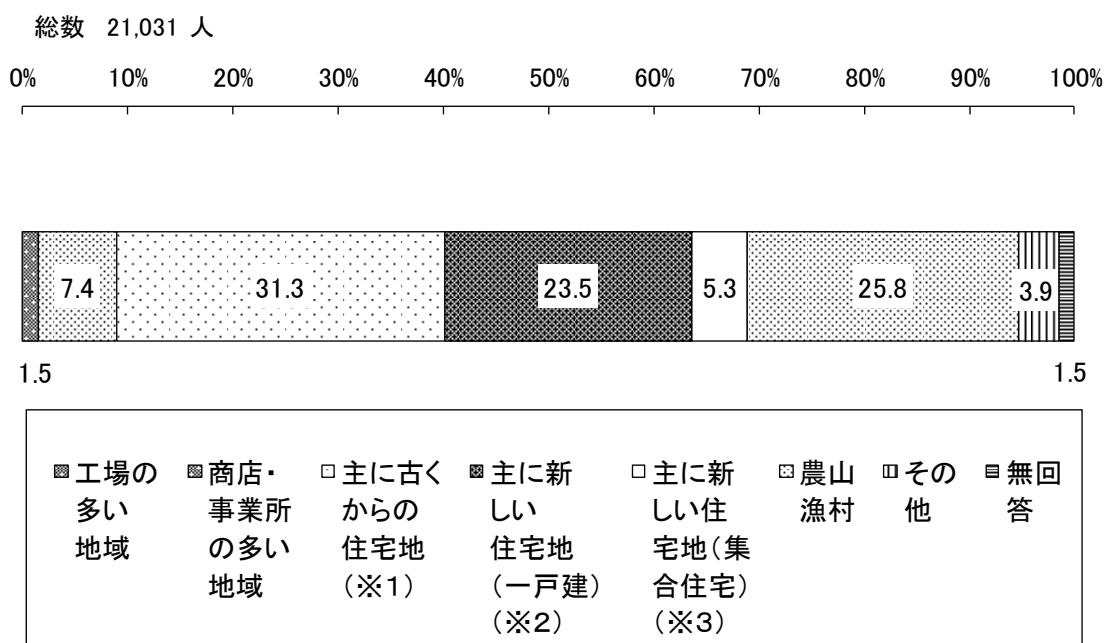
Ⅱ あなたがお住まいの地域（単位民児協の範囲）について

（１）地域の概況

問14 お住まいの地域はどのようなところですか。（1つだけに○）

お住まいの地域がどのようなところか聞いたところ、「工場の多い地域」が1.5%、「商店・事業所の多い地域」が7.4%、「主に古くからの住宅地（戦前からの住宅地）」が31.3%、「主に新しい住宅地（戦後にできた一戸建て住宅が多い住宅地）」が23.5%、「主に新しい住宅地（戦後にできたマンション・アパートが多い住宅地）」が5.3%、「農山漁村」が25.8%、「その他」が3.9%となっている。

図1 地域の概況



（※1）主に古くからの住宅地（戦前からの住宅地）

（※2）主に新しい住宅地（戦後にできた一戸建て住宅が多い住宅地）

（※3）主に新しい住宅地（戦後にできたマンション・アパートが多い住宅地）

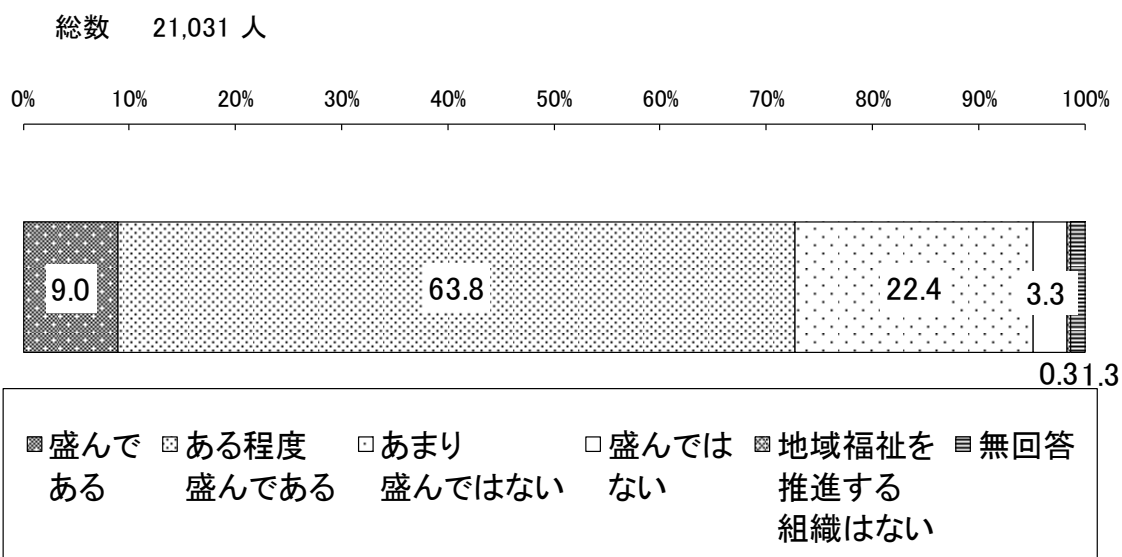
(2) 地域福祉を推進する組織の活動

問15 地域福祉を推進する組織（地区社協、校区福祉委員会など）の活動は、盛んだと思いますか。（1つだけに○）

地域福祉を推進する組織（地区社協、校区福祉委員会など）の活動に関する意識について聞いたところ、「盛んである」が9.0%、「ある程度盛んである」が63.8%、「あまり盛んではない」が22.4%、「盛んではない」が3.3%となっている。

なお、「地域福祉を推進する組織はない」は0.3%となっている。

図2 地域福祉を推進する組織の活動



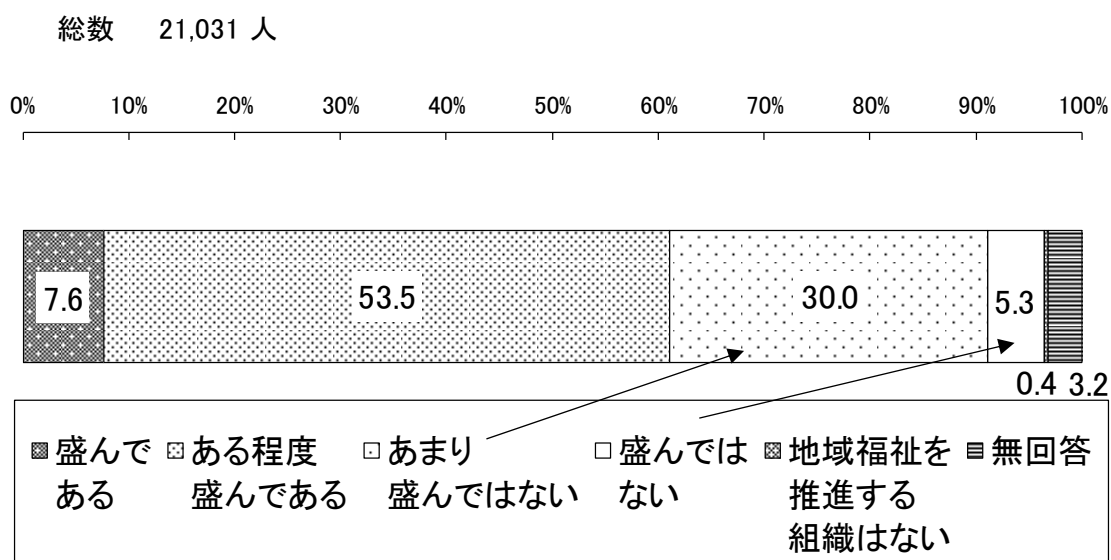
(3) 5年前との比較

問16 地域福祉を推進する組織（地区社協、校区福祉委員会など）の活動は、5年くらい前と比べて盛んになりましたか。（1つだけに○）

地域福祉を推進する組織（地区社協、校区福祉委員会など）の活動が、5年前と比べて盛んであるか聞いたところ、「盛んである」が7.6%で、「ある程度盛んである」が53.5%となっている。また、「あまり盛んではない」が30.0%、「盛んではない」が5.3%となっている。

なお、「地域福祉を推進する組織はない」は0.4%となっている。

図3 5年前との比較



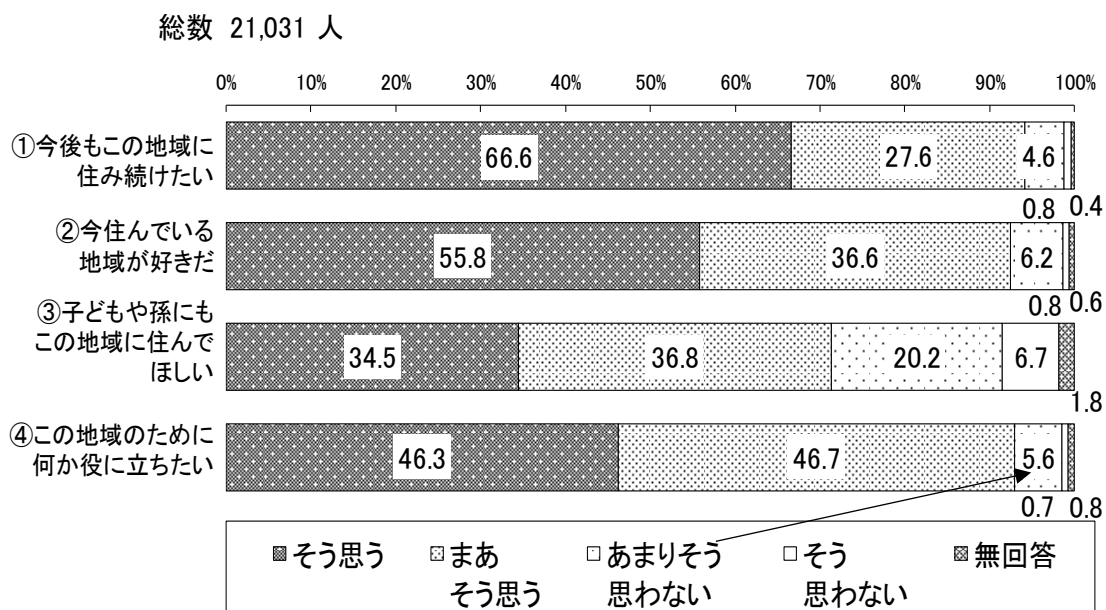
(4) お住まいの地域への考え方

問17 あなたは、お住まいの地域に関する次のような考えについて、どのようにお考えですか。①から④のそれぞれについて、「そう思う」「まあそう思う」「あまりそう思わない」「そう思わない」のうち、あてはまるものの番号1つに○をつけてください。

お住まいの地域について聞いたところ、以下のとおりとなった。

- ① <今後もこの地域に住み続けたい>
「そう思う」が66.6%、「まあそう思う」が27.6%、「あまりそう思わない」が4.6%、「そう思わない」が0.8%となっている。
- ② <今住んでいる地域が好きだ>
「そう思う」が55.8%、「まあそう思う」が36.6%、「あまりそう思わない」が6.2%、「そう思わない」が0.8%となっている。
- ③ <子どもや孫にもこの地域に住んでほしい>
「そう思う」が34.5%、「まあそう思う」が36.8%、「あまりそう思わない」が20.2%、「そう思わない」が6.7%となっている。
- ④ <この地域のために何か役に立ちたい>
「そう思う」が46.3%、「まあそう思う」が46.7%、「あまりそう思わない」が5.6%、「そう思わない」が0.7%となっている。

図4 お住まいの地域への考え方



Ⅲ あなたの民生委員・児童委員活動について

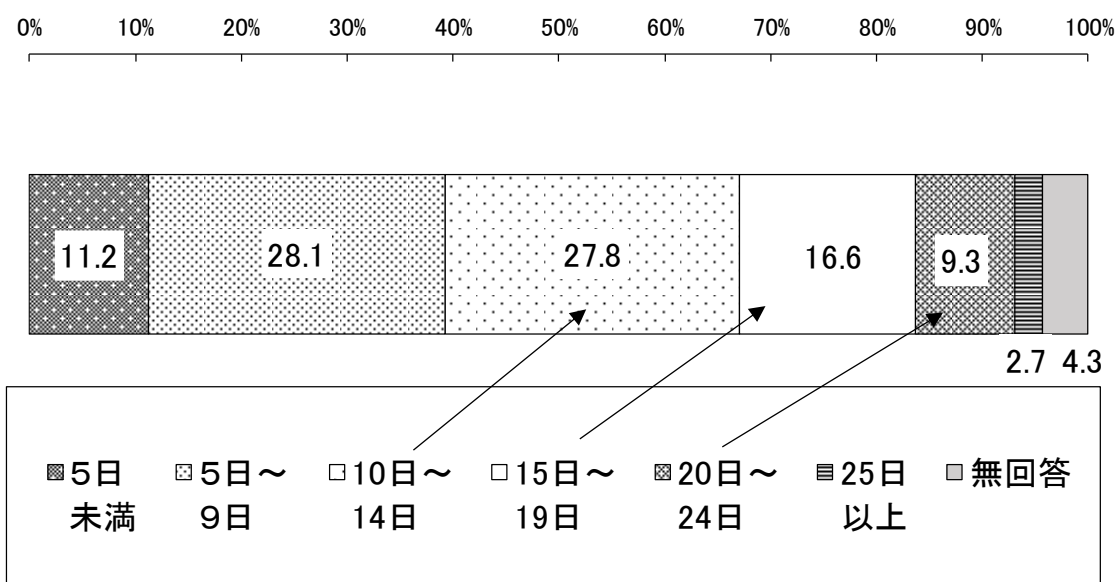
(1) 1カ月間の活動日数

問18 2021（令和3）年11月の1カ月間の活動日数を教えてください。

2021（令和3）年11月の1カ月間の活動日数を聞いたところ、「5日未満」が11.2%、「5日～9日」が28.1%、「10日～14日」が27.8%、「15日～19日」が16.6%、「20日～24日」が9.3%、「25日以上」が2.7%となっている。

図5 活動日数

総数 21,031 人

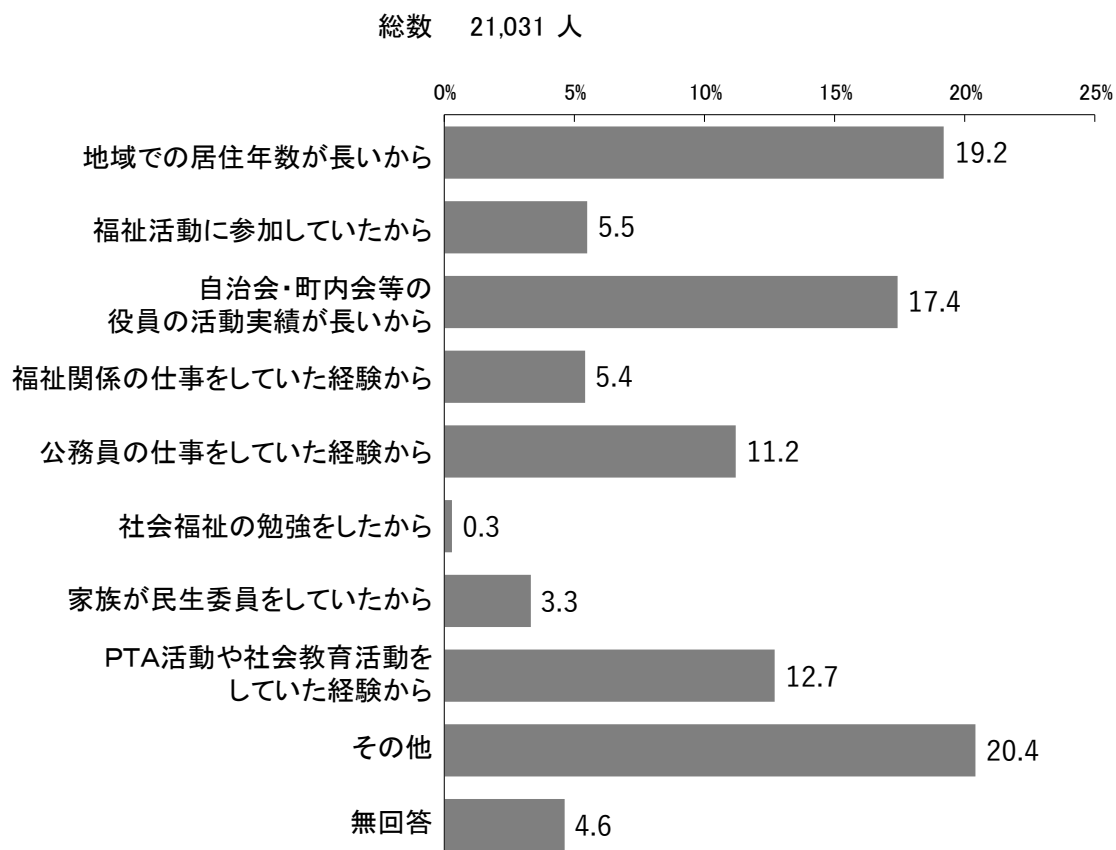


(2) 推薦された理由

問19 あなたが民生委員・児童委員に推薦された最も大きな理由は何だと思えますか。(1つだけに○)

民生委員・児童委員に推薦された最も大きな理由について聞いたところ、「地域での居住年数が長いから」19.2%、「福祉活動に参加していたから」が5.5%、「自治会・町内会等の役員の活動実績が長いから」が17.4%、「福祉関係の仕事をしていた経験から」が5.4%、「公務員の仕事をしていた経験から」が11.2%、「社会福祉の勉強をしたから」が0.3%、「家族が民生委員をしていたから」が3.3%、「PTA活動や社会教育活動をしていた経験から」が12.7%、「その他」が20.4%となっている。

図6 推薦された理由



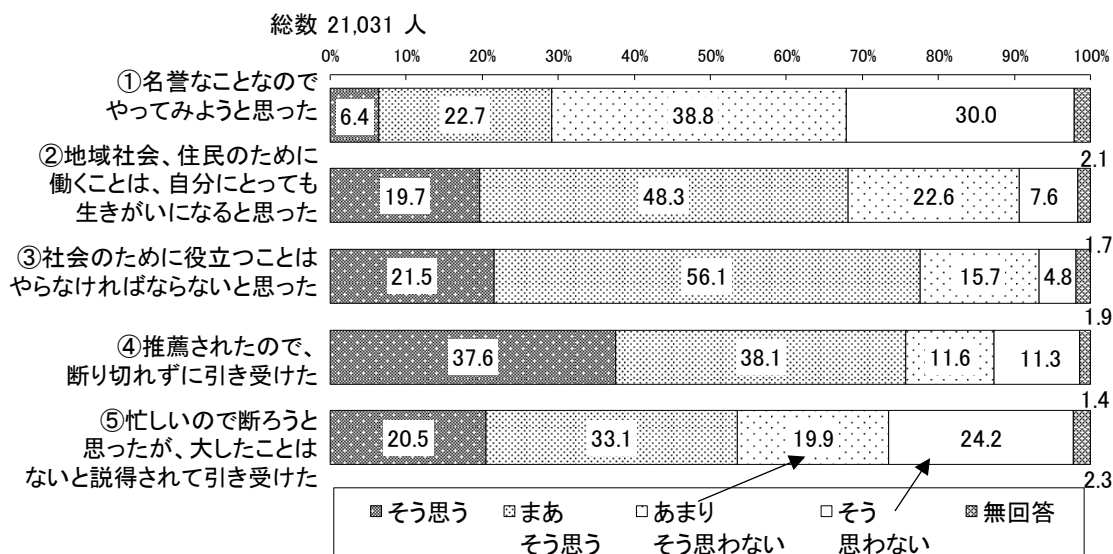
(3) 推薦されたときに感じたこと

問20 あなたは、民生委員・児童委員に推薦されたとき、どのように感じられましたか。①から⑤のそれぞれについて、「そう思う」「まあそう思う」「あまりそう思わない」「そう思わない」のうち、あてはまる番号1つに○をつけてください。

民生委員・児童委員に推薦されたとき、どのように感じたか聞いたところ、以下のとおりとなっている。

- ① <名誉なことなのでやってみようと思った>
「そう思う」が6.4%、「まあそう思う」が22.7%、「あまりそう思わない」が38.8%、「そう思わない」が30.0%となっている。
- ② <地域社会、住民のために働くことは、自分にとっても生きがいになると思った>
「そう思う」が19.7%、「まあそう思う」が48.3%、「あまりそう思わない」が22.6%、「そう思わない」が7.6%となっている。
- ③ <社会のために役立つことはやらなければならないと思った>
「そう思う」が21.5%、「まあそう思う」が56.1%、「あまりそう思わない」が15.7%、「そう思わない」が4.8%となっている。
- ④ <推薦されたので、断り切れずに引き受けた>
「そう思う」が37.6%、「まあそう思う」が38.1%、「あまりそう思わない」が11.6%、「そう思わない」が11.3%となっている。
- ⑤ <忙しいので断ろうと思ったが、大したことはないと言われて引き受けた>
「そう思う」が20.5%、「まあそう思う」が33.1%、「あまりそう思わない」が19.9%、「そう思わない」が24.2%となっている。

図7 推薦されたときに感じたこと

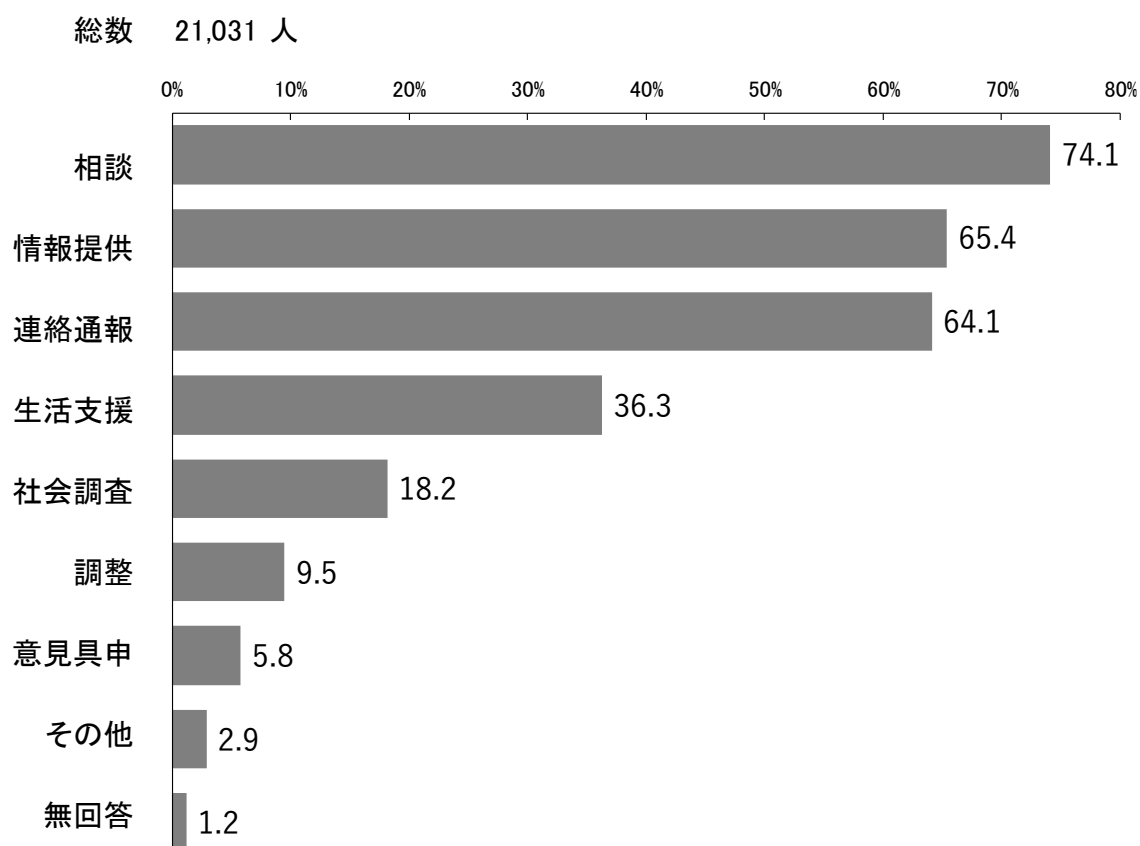


(4) 「7つのはたらき」の重要度

問21 「民生委員・児童委員活動の7つのはたらき」のなかで、地域での重要度が高いと思われる項目を3つまで選んでください。

民生委員・児童委員活動のなかで、地域での重要度が高いと思われる項目を聞いた。割合が高い順に3項目を挙げると、「相談」が74.1%、「情報提供」が65.4%、「連絡通報」が64.1%となっている。(3つまでの複数回答)

図8 「7つのはたらき」の重要度

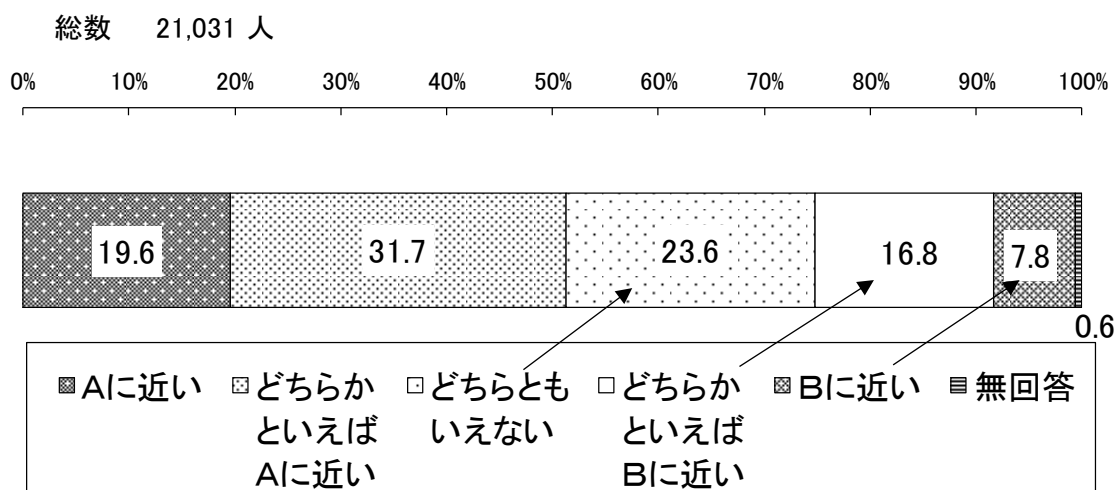


(5) 個別支援活動に関する意識

問22 あなたのお考えはA、Bのどちらに近いですか。(1つだけに○)
 A：民生委員は、個別支援活動はあまり行わず、行政や介護保険サービスなどに任せた方がよい
 B：民生委員は個別支援活動も積極的に行った方がよい

民生委員の活動について、どちらの考えに近いか聞いたところ、「Aに近い」が19.6%、「どちらかといえばAに近い」が31.7%、「どちらともいえない」が23.6%、「どちらかといえばBに近い」が16.8%、「Bに近い」が7.8%となっている。

図9 個別支援活動に関する意識



(6) 活動の範囲に関する意識

問23 あなたは次に示したような依頼を受けたとき、民生委員・児童委員としてどのように対応されますか。①から⑨のそれぞれについて、1から4のうちあてはまる番号1つに○をつけてください。

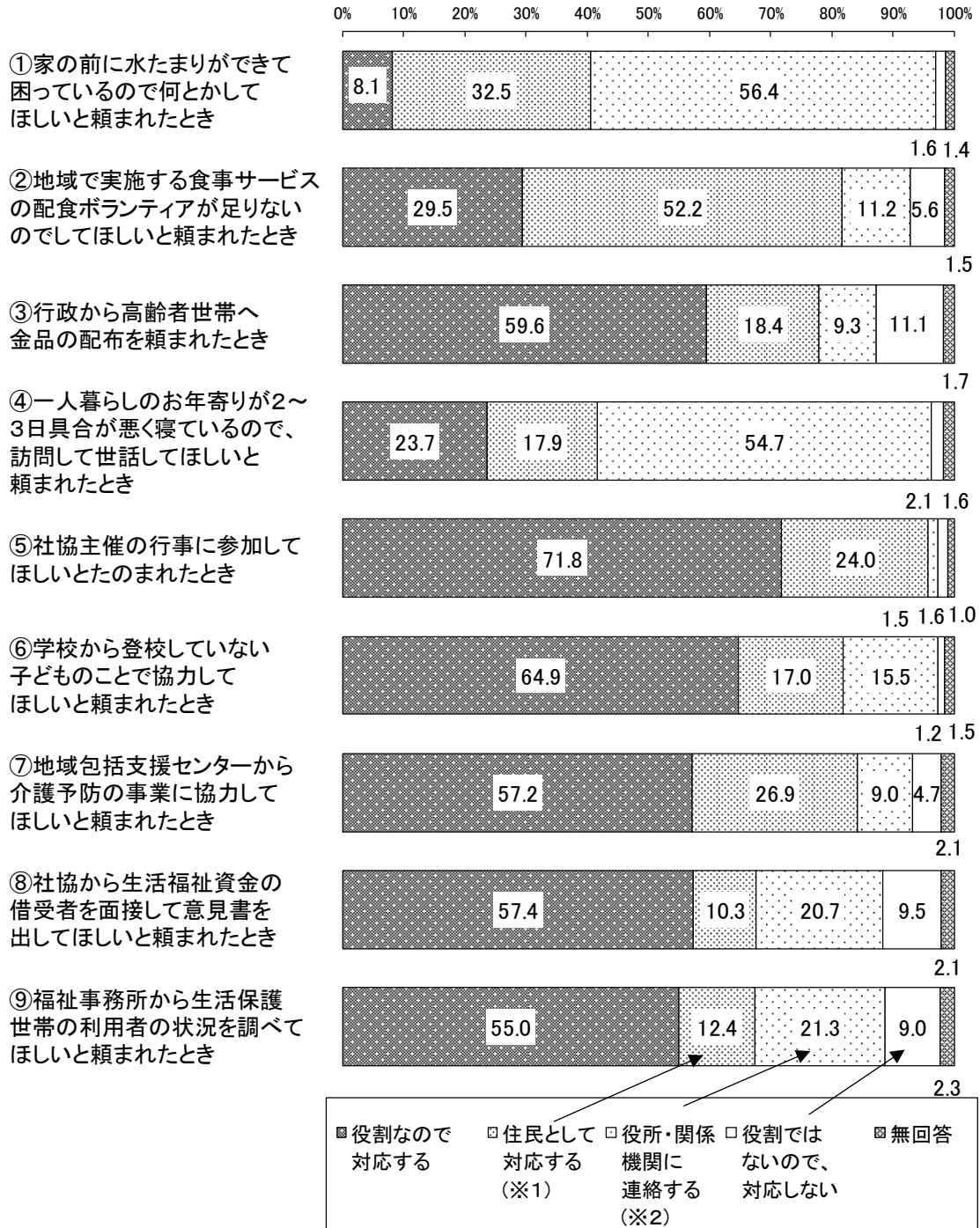
地域の住民から依頼を受けたとき、それぞれどのように対応をするかを聞いた。「役割なので対応する」の割合が高い順に上位5項目を挙げると、「社協主催の行事に参加してほしいと頼まれたとき」が71.8%、「学校から登校していない子どものことで協力してほしいと頼まれたとき」が64.9%、「行政から高齢者世帯へ金品の配布を頼まれたとき」が59.6%、「社協から生活福祉資金の借受者を面接して意見書を出してほしいと頼まれたとき」が57.4%、「地域包括支援センターから介護予防の事業に協力してほしいと頼まれたとき」が57.2%となっている。

一方で、「本来の役割ではないが、住民として対応する」については、「地域で実施する食事サービスの配食ボランティアが足りないののでしてほしいと頼まれたとき」が52.2%と過半数になっている。

また、「役割ではないので、役所・関係機関に連絡する」については、「家の前に水たまりができて困っているので何とかしてほしいと頼まれたとき」が56.4%、「一人暮らしのお年寄りが2～3日具合が悪く寝ているので、訪問して世話してほしいと頼まれたとき」が54.7%と過半数になっている。

図 10 活動の範囲に関する意識

総数 21,031 人



(※1) 本来の役割ではないが、住民として対応する
 (※2) 役割ではないので、役所・関係機関に連絡する

(7) 活動への影響

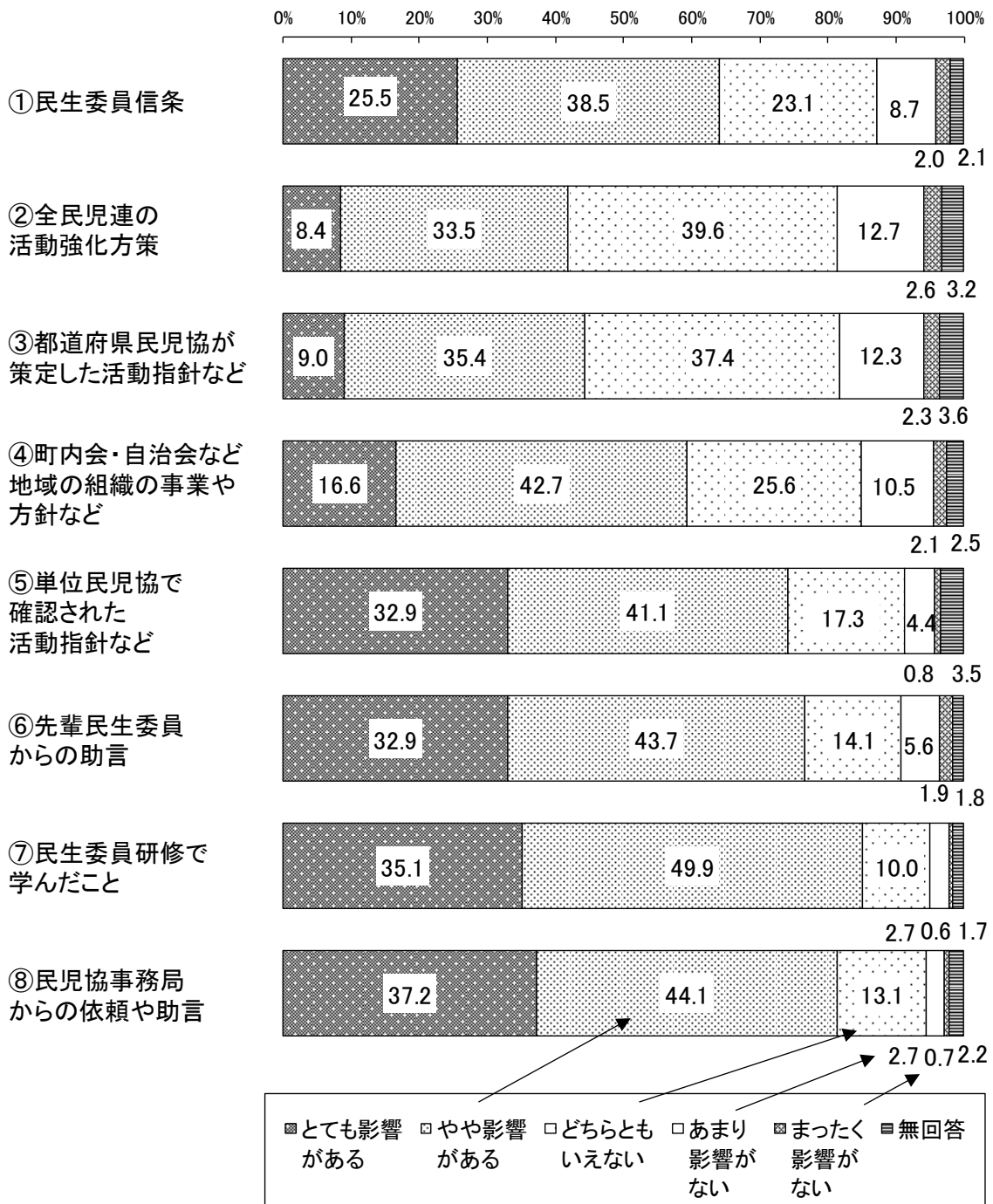
問24 次のことはあなたが行う民生委員・児童委員活動にどの程度影響を与えていますか。①から⑧のそれぞれについて、1から5のうちあてはまる番号1つに○をつけてください。

民生委員・児童委員活動をするうえで、どの程度影響するか聞いた。「とても影響がある」と「やや影響がある」を合計した割合が高い順に上位5項目を挙げると、「民生委員研修で学んだこと」が85.0%、「民児協事務局からの依頼や助言」が81.4%、「先輩民生委員からの助言」が76.6%、「単位民児協で確認された活動指針など」が74.0%、「民生委員信条」が64.1%となっている。

一方で「まったく影響がない」と「あまり影響がない」を合計した割合が高い順に上位5項目を挙げると、「全民児連の活動強化方策」が15.4%、「都道府県民児協が策定した活動指針など」が14.7%、「町内会・自治会など地域の組織の事業や方針など」が12.6%、「民生委員信条」が10.8%、「先輩民生委員からの助言」が7.5%となっている。

図 11 活動への影響

総数 21,031 人



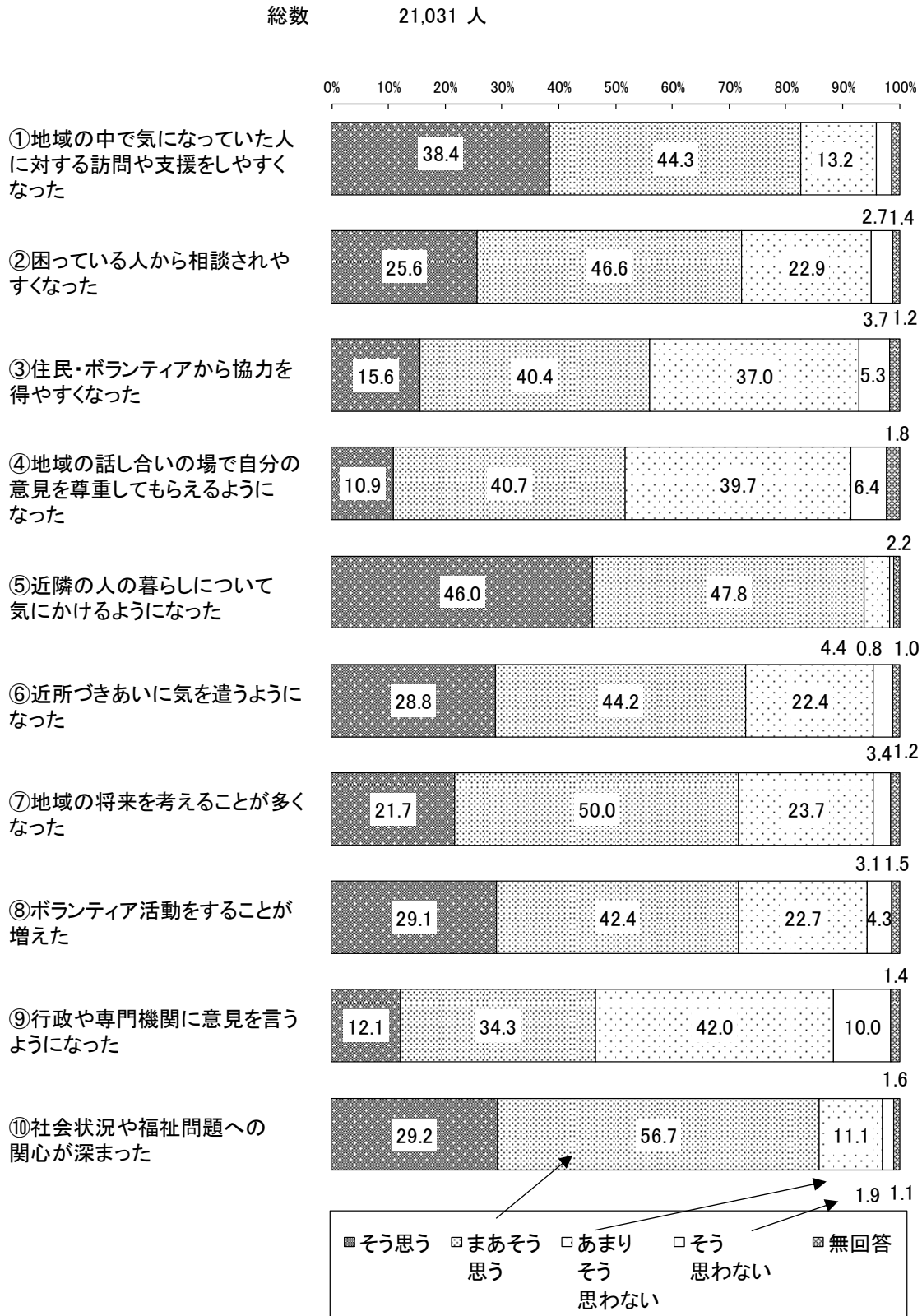
(8) 任命後の変化

問25 あなたは民生委員・児童委員に任命されたことによって、変化したことはありますか。次の①から⑩について、それぞれに「そう思う」「まあそう思う」「あまりそう思わない」「そう思わない」のうち、あてはまる番号1つに○をつけてください。

民生委員・児童委員に任命されたことにより、それぞれの項目について変化があるかを聞いた。「そう思う」と「まあそう思う」を合計した割合が高い順に上位5項目を挙げると、「近隣の人暮らしについて気にかけるようになった」が93.8%、「社会状況や福祉問題への関心が深まった」が85.9%、「地域の中で気になっていた人に対する訪問や支援をしやすくなった」が82.7%、「近所づきあいに気を遣うようになった」が72.9%、「困っている人から相談されやすくなった」が72.1%となっている。

一方で、「そう思わない」と「あまりそう思わない」を合計した割合が高い順に5項目を挙げると、「行政や専門機関に意見を言うようになった」が52.0%、「地域の話合いの場で自分の意見を尊重してもらえるようになった」が46.1%、「住民・ボランティアから協力を得やすくなった」が42.2%、「ボランティア活動をするが増えた」が27.0%、「地域の将来を考えることが多くなった」が26.8%となっている。

図 12 任命後の変化



IV 民生委員・児童委員としての現在のお気持ちについて

(1) 活動の充実感

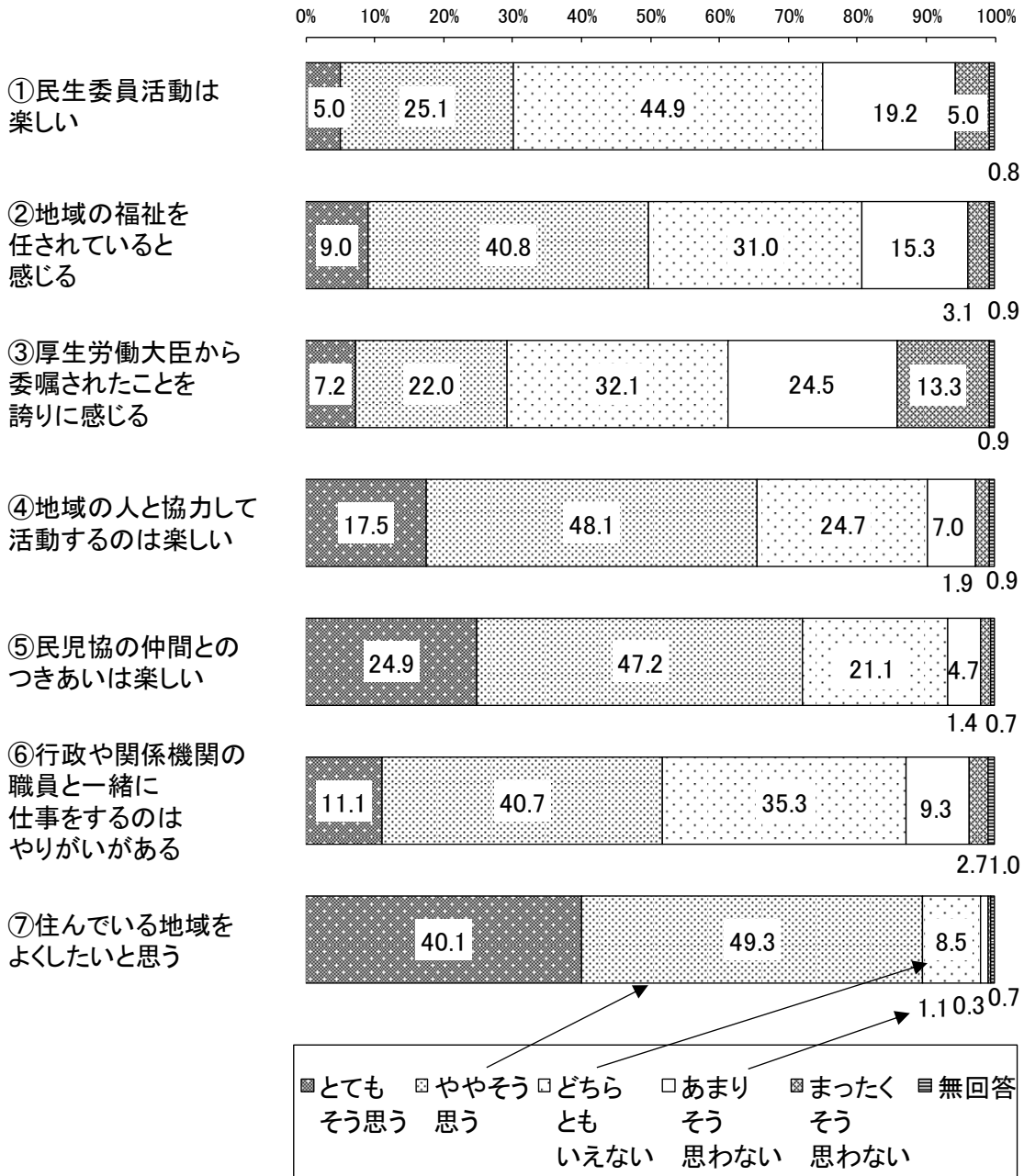
問26 あなたの現在のお気持ちについて、①から⑦について、それぞれに1から5のうちあてはまる番号1つに○をつけてください。

民生委員・児童委員の活動の充実感について聞いた。「とてもそう思う」と「ややそう思う」を合計した割合が高い順に上位3項目を挙げると、「住んでいる地域をよくしたいと思う」が89.3%、「民児協の仲間とのつきあいは楽しい」が72.1%、「地域の人と協力して活動するのは楽しい」が65.6%となっている。

一方で、「まったくそう思わない」と「あまりそう思わない」を合計した割合が高い順に上位3項目を挙げると、「厚生労働大臣から委嘱されたことを誇りに感じる」が37.8%、「民生委員活動は楽しい」が24.2%、「地域の福祉を任されていると感じる」が18.3%となっている。

図 13 活動の充実感

総数 21,031 人

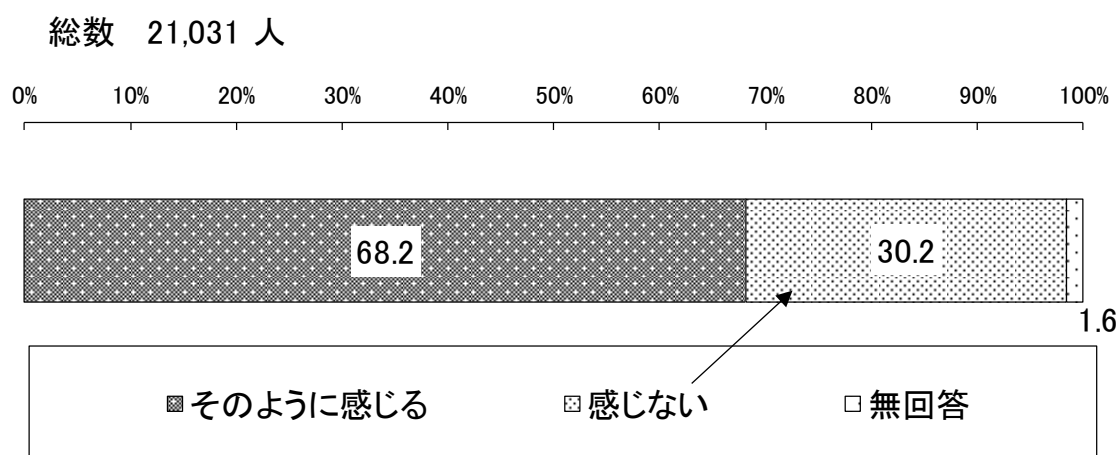


(2) 委嘱された直後との意欲の比較

問27 あなたは、民生委員・児童委員に委嘱された直後（1年目）と現在とを比較して、より熱心に活動に取り組んでいると感じられますか。（1つだけに○）

民生委員・児童委員に委嘱された直後（1年目）と現在とを比較して、より熱心に活動に取り組んでいるかを聞いたところ、「そのように感じる」が68.2%、「感じない」が30.2%となっている。

図14 委嘱された直後との意欲の比較



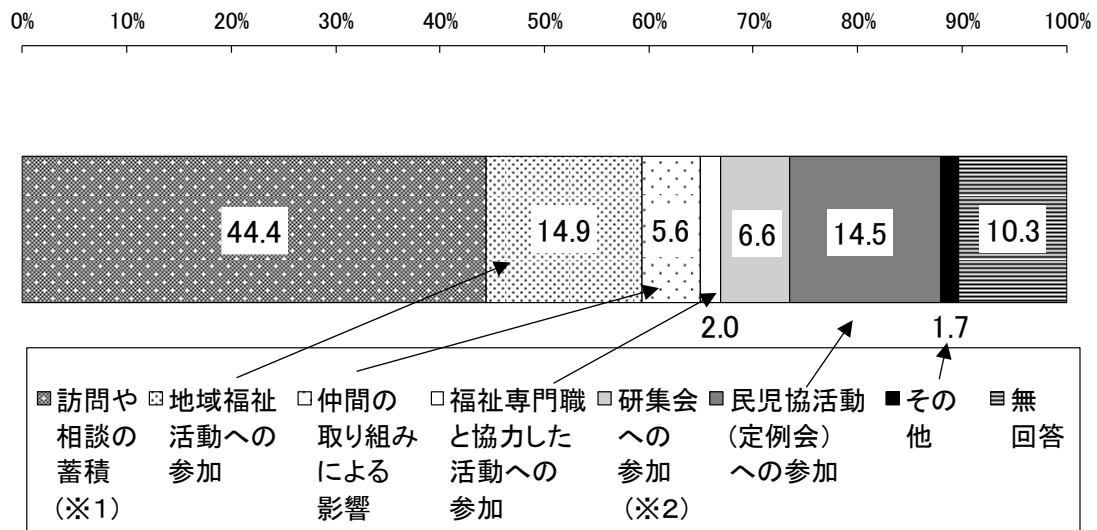
問27-2 「1 そのように感じる」と回答した人にお尋ねします。より熱心に活動に取り組むきっかけとなった出来事は何ですか。主な順で3つまでお答え下さい。

問27で「そのように感じる」と回答した方(14,339人)に、委嘱された直後(1年目)より熱心に活動に取り組むきっかけとなった出来事を主な順で3つまで聞いた。1位として選択された割合が高い順に上位3項目を挙げると、「困りごとを抱えた人への訪問や相談の蓄積」が44.4%、「地域福祉活動への参加」が14.9%、「民児協活動(定例会)への参加」14.5%となっている。

図 15-1 熱心に取り組むきっかけとなった出来事(1位)

<1位>

該当数 14,339人



(※1) 困りごとを抱えた人への訪問や相談の蓄積

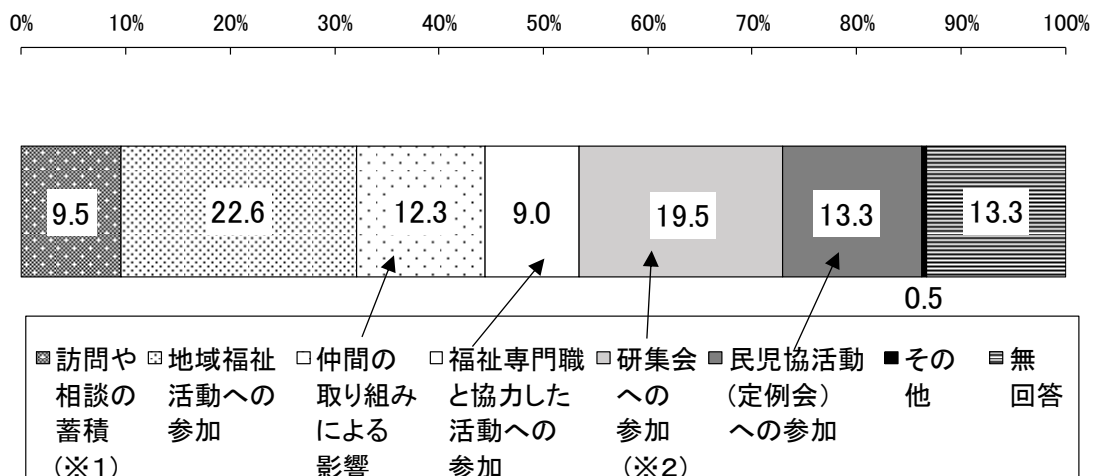
(※2) 民生委員・児童委員を対象とした研修会への参加

2位として選択された割合が高い順に上位3項目を挙げると、「地域福祉活動への参加」が22.6%、「民生委員・児童委員を対象とした研修会への参加」が19.5%、「民児協活動（定例会）への参加」が13.3%となっている。

図 15-2 熱心に取り組むきっかけとなった出来事（2位）

<2位>

該当数 14,339 人

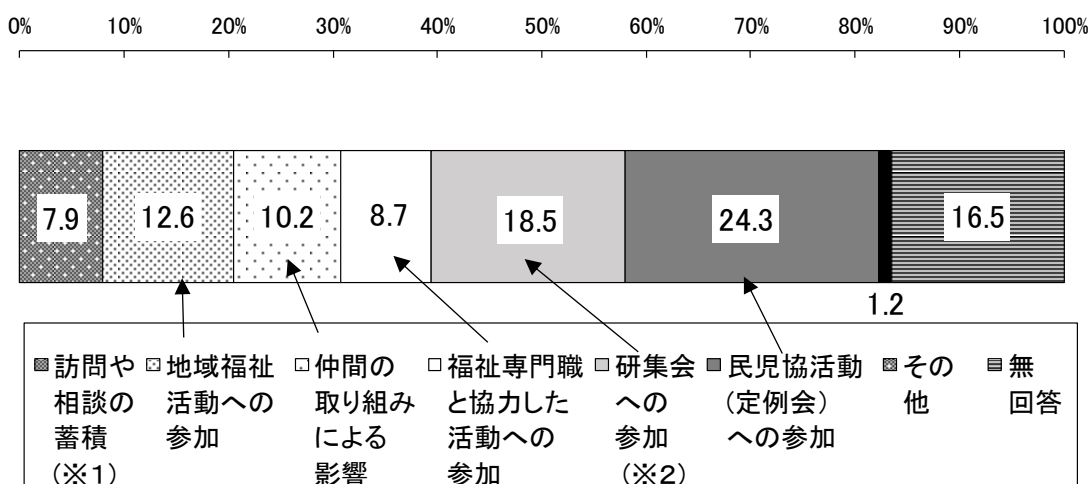


3位として選択された割合が高い順に上位3項目を挙げると、「民児協活動（定例会）への参加」が24.3%、「民生委員・児童委員を対象とした研修会への参加」が18.5%、「地域福祉活動への参加」が12.6%となっている。

図 15-3 熱心に取り組むきっかけとなった出来事（3位）

<3位>

該当数 14,339 人



(※1) 困りごとを抱えた人への訪問や相談の蓄積

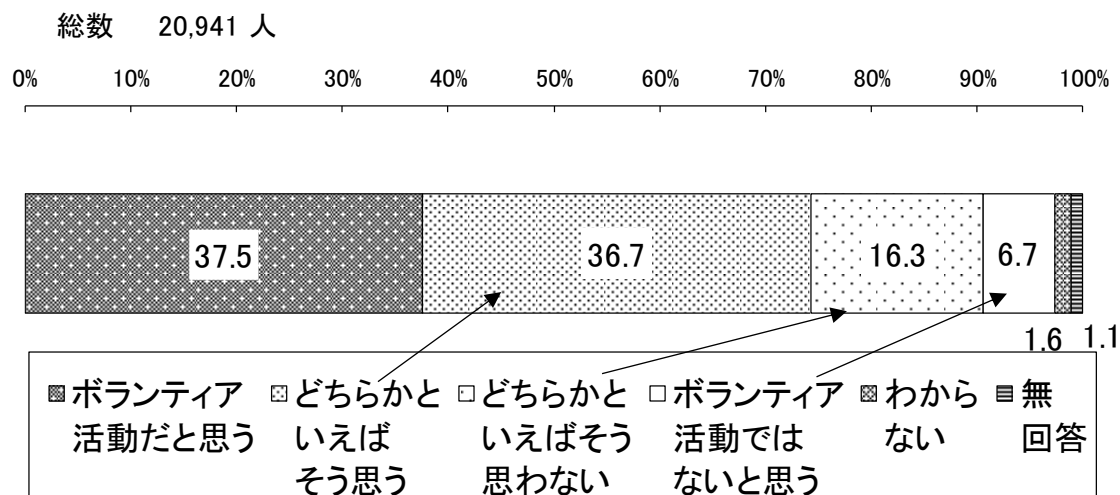
(※2) 民生委員・児童委員を対象とした研修会への参加

(3) ボランティアとしての意識

問28 民生委員・児童委員活動はボランティア活動だと思いますか。(1つだけに○)

民生委員・児童委員活動はボランティア活動だと思うか聞いたところ、「ボランティア活動だと思う」が37.5%、「どちらかといえばボランティア活動だと思う」が36.7%、「どちらかといえばボランティア活動ではないと思う」が16.3%、「ボランティア活動ではないと思う」が6.7%となっている。

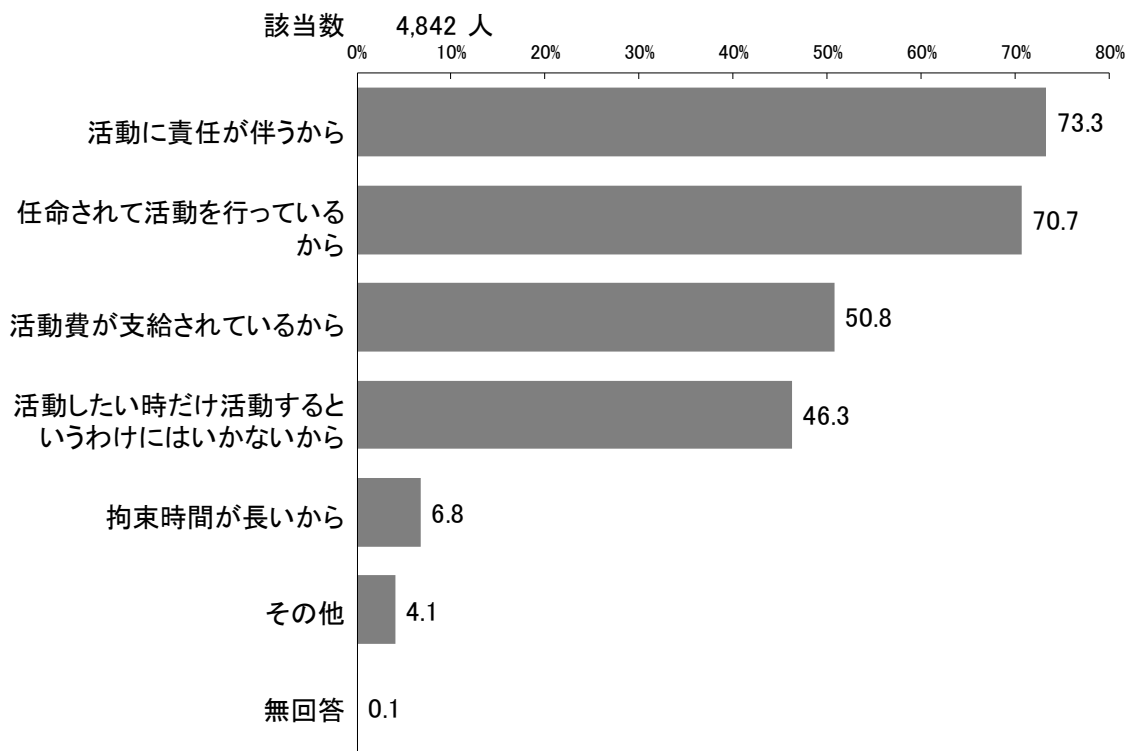
図 16 ボランティアとしての意識



問28-2 「3 どちらかといえばボランティア活動ではないと思う」と「4 ボランティア活動ではないと思う」と答えた方にお尋ねします。「ボランティアではない」と思うのはどのような理由からですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

問28で「どちらかといえばボランティア活動ではないと思う」と「ボランティア活動ではないと思う」と回答した方（4,842人）に「ボランティアではない」と思うのはどのような理由か聞いた。割合が高い順に上位3項目を挙げると、「活動に責任が伴うから」が73.3%、「任命されて活動を行っているから」が70.7%、「活動費が支給されているから」が50.8%となっている。（複数回答）

図 17 ボランティア活動ではないと思う理由



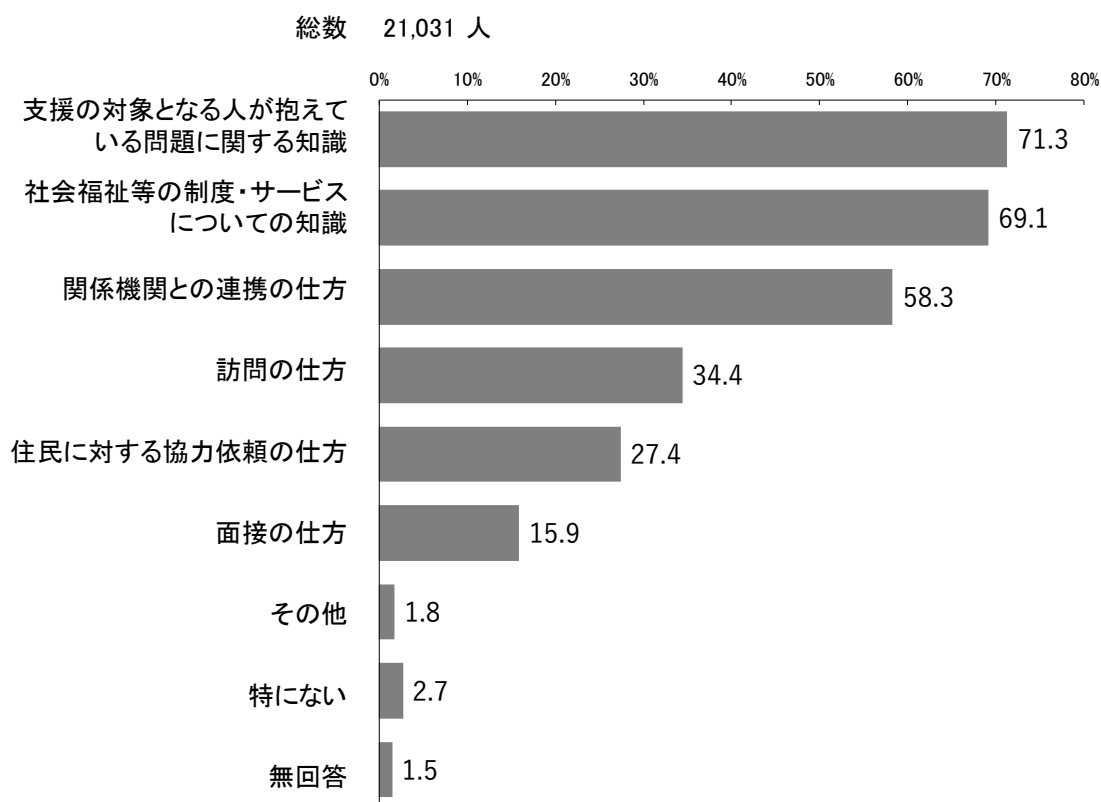
V 民生委員・児童委員活動への支援体制について

(1) 必要な研修

問29 あなたが民生委員・児童委員活動をするために必要だと思う研修はどのようなものですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

民生委員・児童委員活動をするために必要だと思う研修について聞いた。割合が高い順に上位3項目を挙げると、「支援の対象となる人が抱えている問題に関する知識」が71.3%、「社会福祉等の制度・サービスについての知識」が69.1%、「関係機関との連携の仕方」が58.3%となっている。(複数回答)

図18 必要な研修

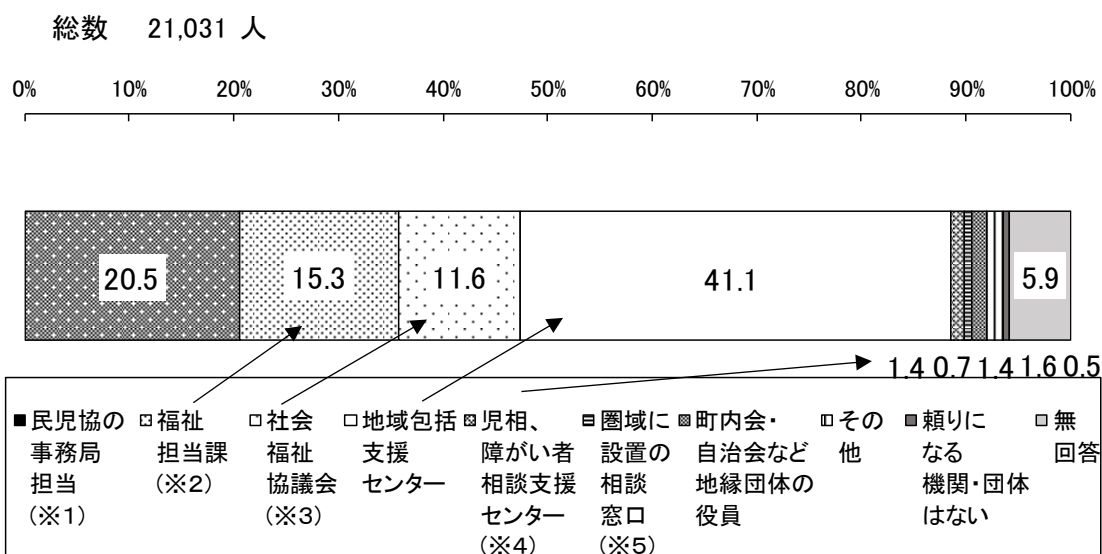


(2) 頼りになる機関・団体

問30 発見したニーズのつなぎ先がわからなかった時、最も頼りになるのはどの機関・団体ですか。(1つだけに○)

民生委員・児童委員活動をしている際に発見したニーズのつなぎ先がわからなかった時に最も頼りになる機関を聞いたところ、「市区町村の民児協の事務局担当」が20.5%、「市区町村の福祉担当課」が15.3%、「市区町村の社会福祉協議会」が11.6%、「地域包括支援センター」が41.1%、「児童相談所、障がい者相談支援センターなど分野別の専門機関」が1.4%、「市区町村をいくつかの圏域に分けたところに設置されている相談窓口」が0.7%、「町内会・自治会など地縁団体の役員」が1.4%、「その他」が1.6%となっている。また、「頼りになる機関・団体はない」が0.5%となっている。

図 19 頼りになる機関・団体



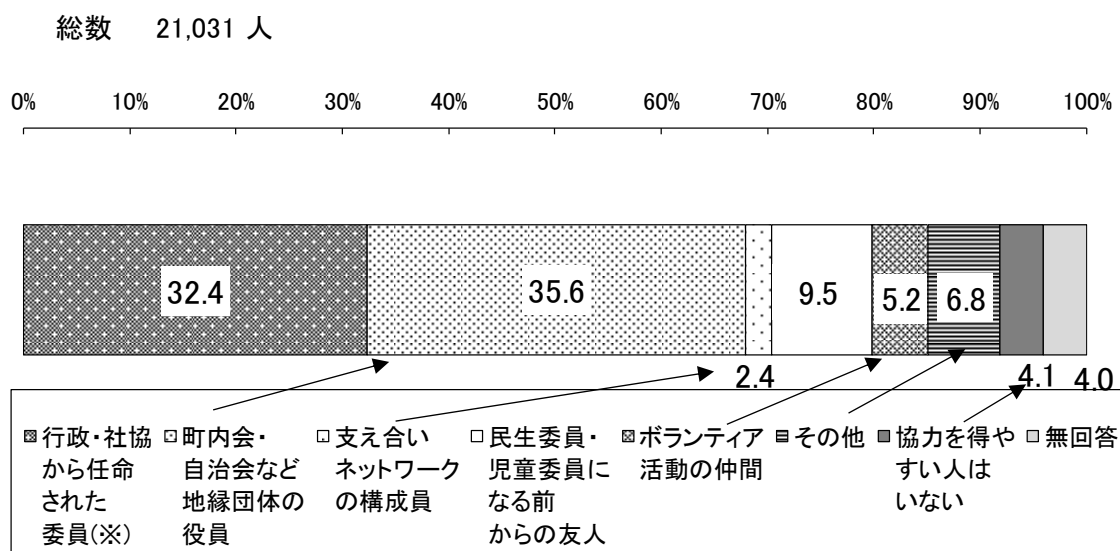
- (※1) 市区町村の民児協の事務局担当
- (※2) 市区町村の福祉担当課
- (※3) 市区町村の社会福祉協議会
- (※4) 児童相談所、障がい者相談支援センターなど分野別の専門機関
- (※5) 市区町村をいくつかの圏域に分けたところに設置されている相談窓口

(3) 協力を得やすい人

問31 あなたが担当区域で活動する上で、最も協力を得やすいのはどのような立場の人ですか。(1つだけに○)

民生委員・児童委員活動をしている際に、最も協力を得やすい立場の人を聞いたところ、「福祉委員などの行政・社協から任命された委員」が32.4%、「町内会・自治会など地縁団体の役員」が35.6%、「支え合いネットワークの構成員」が2.4%、「民生委員・児童委員になる前からの友人」が9.5%、「ボランティア活動の仲間」が5.2%、「その他」が6.8%となっている。また、「協力を得やすい人はいない」は4.1%となっている。

図 20 協力を得やすい人



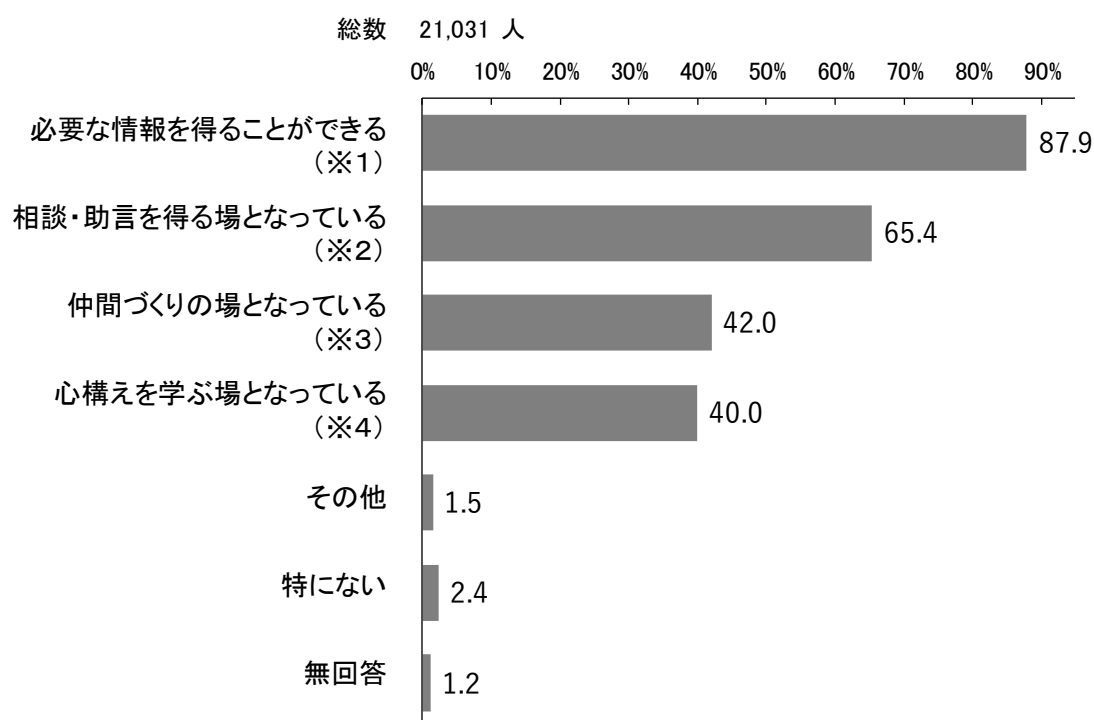
(※) 福祉委員などの行政・社協から任命された委員

(4) 単位民児協の定例会の意義

問32 単位民児協の定例会は、あなたが民生委員・児童委員活動をする上でどのような場となっていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

民生委員・児童委員活動の中で、単位民児協の定例会がどのような場であるか聞いた。割合が高い順に上位4項目を挙げると、「民生委員・児童委員活動に必要な情報を得ることができる」が87.9%、「対応に悩む事例などについて相談・助言を得る場となっている」が65.4%、「区域で活動する際に協力を得るための仲間づくりの場となっている」が42.0%、「民生委員・児童委員としての心構えを学ぶ場となっている」が40.0%となっている。(複数回答)

図 21 単位民児協の定例会の意義



(※1) 民生委員・児童委員活動に必要な情報を得ることができる

(※2) 対応に悩む事例などについて相談・助言を得る場となっている

(※3) 区域で活動する際に協力を得るための仲間づくりの場となっている

(※4) 民生委員・児童委員としての心構えを学ぶ場となっている

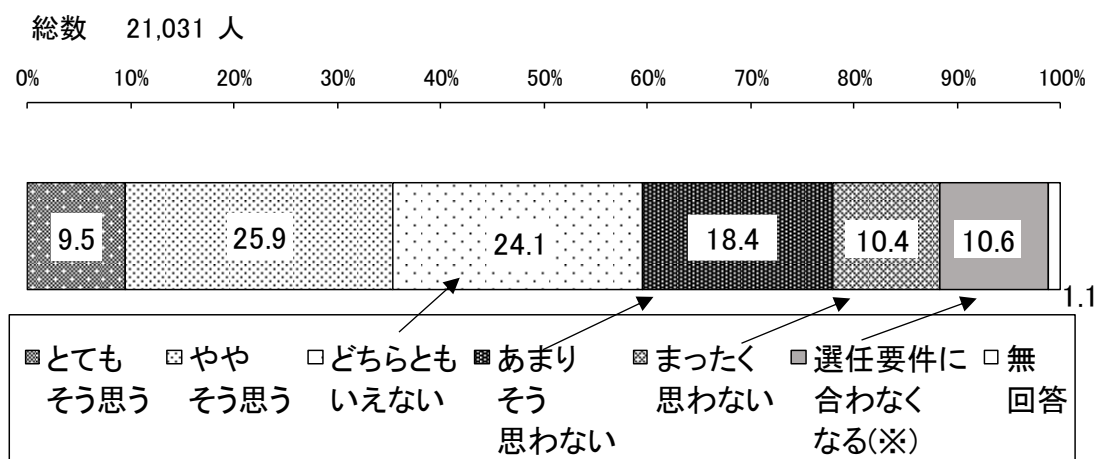
VI これからの民生委員・児童委員制度の在り方について

(1) 継続の意思

問33 あなたは、次期も民生委員・児童委員を続けようと思いますか。
(1つだけに○)

民生委員・児童委員活動を今後も続けようと思うか聞いたところ、「とてもそう思う」が9.5%、「ややそう思う」が25.9%、「どちらともいえない」が24.1%、「あまりそう思わない」が18.4%、「まったく思わない」が10.4%、「定年を迎える、転居の予定などの理由で、選任要件に合わなくなる」が10.6%となっている。

図 22 継続の意思



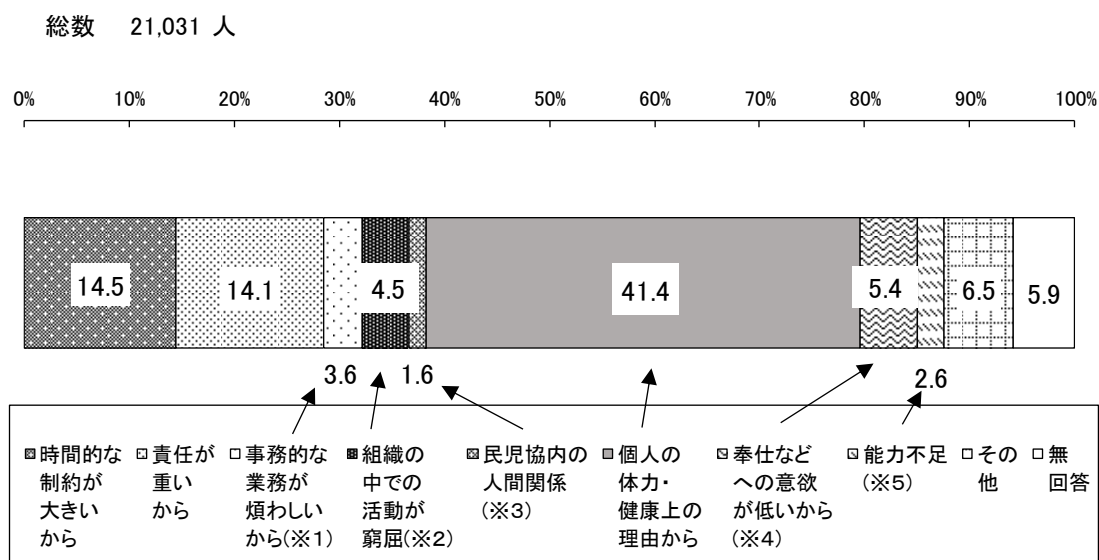
(※) 定年を迎える、転居の予定などの理由で、選任要件に合わなくなる

(2) 退任の理由

問34 あなたからみて定年前に民生委員・児童委員を退任する人は、どのような理由が多いと思いますか。(1つだけに○)

定年前に民生委員・児童委員を退任する人は、どのような理由が多いと思うか聞いたところ、「時間的な制約が大きいから」が14.5%、「責任が重いから」が14.1%、「活動実績の提出など事務的な業務が煩わしいから」が3.6%、「民生委員・児童委員という制度や組織の枠の中で活動することが窮屈だから」が4.5%、「民児協内の人間関係がうまくいかなかったから」が1.6%、「個人の体力・健康上の理由から」が41.4%、「もともと奉仕やボランティアに対する意欲が低いから」が5.4%、「必要な業務を担うのには能力不足だったから」が2.6%、「その他」が6.5%となっている。

図 23 退任の理由



- (※1) 活動実績の提出など事務的な業務が煩わしいから
- (※2) 民生委員・児童委員という制度や組織の枠の中で活動することが窮屈だから
- (※3) 民児協内の人間関係がうまくいかなかったから
- (※4) もともと奉仕やボランティアに対する意欲が低いから
- (※5) 必要な業務を担うのには能力不足だったから

(3) 持続可能な制度にしていくために必要なこと

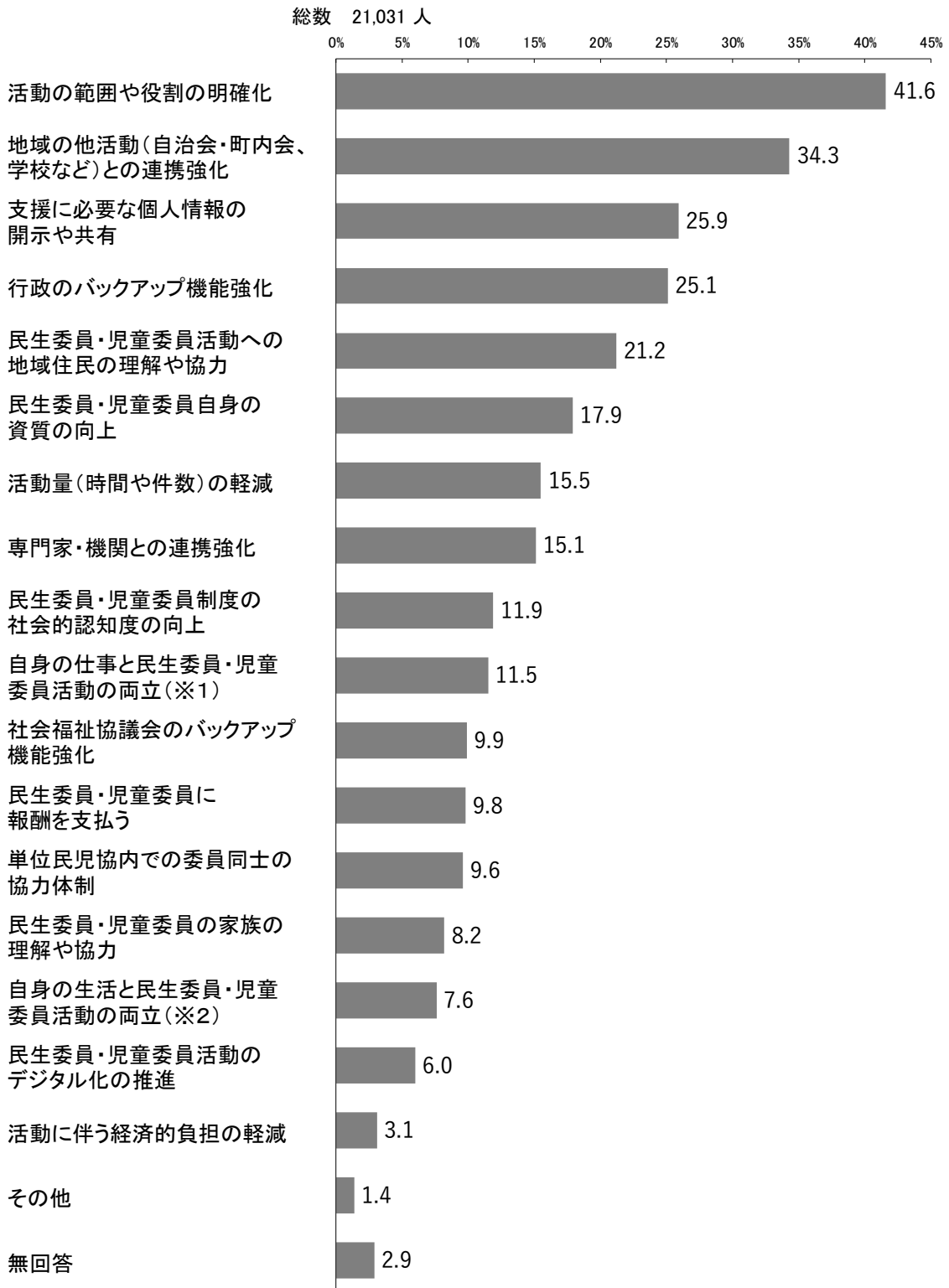
問35 民生委員・児童委員制度を持続可能な制度にしていくために必要なこととして、次の中から3つまで選んでください。

持続可能な制度にしていくために必要だと思うことを3つまで聞いた。選択された割合が高い順に上位5項目を挙げると、「活動の範囲や役割の明確化」が41.5%、「地域その他活動（自治会・町内会、学校など）との連携強化」が34.3%、「支援に必要な個人情報の開示や共有」が25.9%、「行政のバックアップ機能強化」が25.1%、「民生委員・児童委員活動への地域住民の理解や協力」が21.2%となっている。（3つまでの複数回答）

※選択肢すべては以下のとおりである。

1. 活動量（時間や件数）の軽減
2. 活動の範囲や役割の明確化
3. 民生委員・児童委員自身の資質の向上
4. 支援に必要な個人情報の開示や共有
5. 専門家・機関との連携強化
6. 行政のバックアップ機能強化
7. 社会福祉協議会のバックアップ機能強化
8. 地域その他活動（自治会・町内会、学校など）との連携強化
9. 活動に伴う経済的負担の軽減
10. 民生委員・児童委員活動のデジタル化の推進
11. 単位民児協内での委員同士の協力体制
12. 民生委員・児童委員活動への地域住民の理解や協力
13. 民生委員・児童委員制度の社会的認知度の向上
14. 民生委員・児童委員自身の生活と民生委員・児童委員活動の両立
15. 民生委員・児童委員の家族の理解や協力
16. 民生委員・児童委員自身の仕事と民生委員・児童委員活動の両立
17. 民生委員・児童委員に報酬を支払う
18. その他

図 24 持続可能な制度にしていくために必要なこと



(※1) 民生委員・児童委員自身の仕事と民生委員・児童委員活動の両立

(※2) 民生委員・児童委員自身の生活と民生委員・児童委員活動の両立